



新工 SPH 通信



VOL.126

新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

令和元年9月13日

Community cooperation

令和元年度 第1回運営指導委員会が行われました。

令和元年9月13日（金）第1回運営指導委員会が行われ、御指導・御助言をいただきました。



【運営指導委員会風景】

運営指導委員

上村 靖司 様	長岡技術科学大学教授
吉本 康文 様	新潟工科大学教授
阿部 淑人 様	工業技術総合研究所研究開発センター長
齋藤 浩之 様	新潟県地中熱利用研究会技術委員長
佐々木 彰 様	新潟原動機(株)技術センター主幹技師
清野 実 様	新潟造船(株)工作部長

管理運営機関

藤井 人志 様	新潟県教育庁高等学校教育課長
一本鎗 裕 様	新潟県教育庁高等学校教育課指導第2係指導主事



↑ 【地域連携：土木部コンクリートカヌーの説明、全国大会2連覇達成】

↓ 【エコハウス説明】



上村靖司様に座長として進行していただき、運営指導委員と管理運営機関から指導助言をいただきました。

＜良い点＞

- 評価シートのレーダーチャートの利用が分かりやすく、生徒の成長が可視化されている。
- 全教科で横断的な取組をされていて素晴らしい。
- SPH 通信は、新潟工業高校の財産になっている。
- 生徒は、他の学科の生徒に自分の学科の学習内容を教えることで理解が深まっている。いい取組だ。
- 様々な取組が、コミュニケーション能力の向上等、総合的な力になっている。

＜今後へ向けての期待＞

- 電気科がエコハウスのデータをとっているの、そのデータを今後どう利用するのかを考えてほしい。
- 地元の企業や上級学校との繋がりができているので、今後も関係を繋げていってほしい。この、関係性の構築も SPH 事業の大事な成果の一つだ。

今年度、10月26日(土)、27日(日)に開催される「全国産業教育フェア新潟大会」における SPH 事業発表会、12月18日(水)に予定されている SPH 成果発表へ向けての激励もいただきました。

